



# 学校だより

令和4年11月28日 第10号

金沢市立森本小学校



## 『生きる力』を支える「健やかな体」のさらなる向上を

文部科学省では、子どもたちが急激な環境の変化に順応し、これから学校を卒業した後も、その学びを生かせるように学習指導要領に『生きる力』として位置付けています。これは学校だよりで取り上げている子どもたちが主体的に考え行動し、社会的自立を目指すことにもつながります。また、この『生きる力』は、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和を重視することで支えられています。

「健やかな体」に関しては、「児童生徒が心身ともに健やかで安全に成長していくことができるよう、学校・家庭・地域が連携して心身の健康と安全を守ることができる体制の整備を推進するとともに、児童生徒が自らの心身の健康をはぐくみ、安全を確保することのできる基礎的な素養の育成を図る」とされており、健康安全面においても、子どもたちを取り巻く大人が協力して関わること大切さがあります。

本校の今年度の虫歯治癒率（歯科医への受診率）は、68%にとどまっています。「乳歯だから」「本人が痛がっていないので」「仕事が忙しくてなかなか通院できない」など、家庭によってご事情は様々だと思います。夏休みに歯科医を受診する家庭が多く、夏休み明けの9月に治癒率が上がるという学校もあります。ご存知のとおり、虫歯の細菌は口内だけではなく体に害を及ぼすことがあります。前述の「自らの心身の健康をはぐくみ、安全を確保する基礎的な素養の育成」の観点からも、まだ通院されていない方は、お子様が大人（親）になったときに”小学生の頃に虫歯があっても歯医者さんにはいかなかったよ。だから・・・“という経験にならないように見直しをお願いします。

また、先日の保健だよりでお示したように、朝食を摂取していない児童が多いことがとても気になっています。「お子様の起床が遅いため、食べる時間がない」「本人が食べたくないと言う」ということもあるかもしれません。それでも、朝食は「健やかな体」のみならず、「確かな学力」「豊かな心」につながる欠かせないものです。慌ただしい朝の時間帯ですが、お子様の『生きる力』の源として、朝食の価値をとらえ直していただければと思います。

## 次年度より「地域学校協働活動」を実施します

「地域学校協働活動」とは、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。（文部科学省）

幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が連携・協働しながら、地域全体で子どもの学びと成長を支え、地域を活性化する「地域学校協働活動」は、金沢市の小学校53校のうち40校ですでに活動を進めています。

次年度からは、本校でも実施したいと考えております。手探りのスタートとなるかもしれませんが、保護者様を含む地域住民の皆様のお力をお借りしたり、「町の子」の意識を高めて積極的に活動に関わったりという連携を深めていきたいと思っております。詳しくは、あらためてご案内します。

## 交通安全への意識向上をめざして

今年度に入っても、市内の小中学生が被害にあう大きな交通事故が発生しています。本校でも、救急車が出動する事故が起きています。日が短くなっている時期でもありますので、各ご家庭でお子様に交通安全について、地域の具体的な場所に即してお話ください。

また、本校児童の自転車ヘルメット着用率（児童アンケートの結果）が高くありません。命を守るための着用が定着できるように、ご協力をお願いします。